

学校経営目標：夢と希望をはぐくむ学校

教育目標：考える子 思いやりのある子 やりぬく子

本宮市立本宮小学校

学校だより第11号

令和4年8月22日

校長 穂山俊之



本小だより

2学期がスタート



長いと思った夏休みがあっという間に終わり、いよいよ今日から2学期が始まりました。元気な顔が久しぶりにそろい、学校に明るさが戻ってきました。

校長室前の廊下を通り、元気よくあいさつして教室へ向かう子どもたちは、夏休みならではの様々な経験を通して、一回りたくましくなったように感じられました。

思い切り遊んだ子、スポーツで体を鍛えた子、勉強に力を入れた子、旅行をした子等々、それぞれに有意義な時間を過ごせたのではないかと思います。

子どもたちが充実した夏休みを過ごせたことは、それぞれのご家庭で、子どもたちの生活を温かく見守っていただいたお陰です。本当にありがとうございました。感謝申し上げます。

2学期は、学校生活の中でも一番期間が長く、遠足行事や学習発表会など、大きい行事もあります。様々な場面で、子どもたちが自分の力を発揮し、充実した学校生活を過ごせるように支援していきたいと思えます。

さて、新型コロナウイルスですが、「第7波」に突入し、これまでの感染の波をはるかに上回るスピードで新規陽性者数が増加しています。

学校では引き続き、今まで感染予防対策として行ってきた「密を避ける」「手洗い・うがい・消毒」「換気」を、あらためてひとつひとつ丁寧に実践しつつ、学校ならではの学びを大事にしながら教育活動を進め、最大限、子どもたちの健やかな学びを保障していきたいと考えております。保護者の皆様の、ご理解とご支援をお願いします。

どのような厳しい状況にあっても、子どもたちの笑顔を失わないために……。



濃厚接触者の待機期間の見直しについて

濃厚接触者の待機期間については、これまで7日間程度でしたが、次のとおり見直されました。

感染者との最終接触等から5日間（6日目解除）

2日目及び3日目の抗原定性検査キットで陰性の場合、3日目から解除

ただし、一定の発症リスクがあるので、7日間が経過するまで（または、同居家族の療養が終了するまで）は、感染対策を徹底してください。

なお、別の同居家族が新たに感染した場合は、あらためてその発症日が0日目としてカウントされます。家庭内で療養する方がいる場合は、家庭内での接触を避ける等、感染リスクを下げる行動を心がけてください。

お子さんや同居家族に発熱等の風邪の症状が見られる時は、登校を控えるなど、引き続きのご協力をお願いいたします。

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果について

令和4年4月19日（火）小学校6年生を対象に全国学力・学習状況調査が行われました。この度、結果がまとまりましたので、本校の概要についてお知らせいたします。

【教科（国語科、算数科、理科）に関する調査】

国語科・算数科ともに、全国・県平均に比べ、やや低い状況である。

理科は、全国・県平均に比べ、やや高い状況である。

〔国語科〕

○「漢字」や「言葉の特徴、使い方」に関する問題は、全国・県平均を上回っている。

- ・「文章を読み取る力」「自分の考えをまとめる力」「過不足なく書く力」に課題がある。

〔算数科〕

○これまで課題としてあげられていた「割合の問題」や「立てた式の理由を記述すること」については、ともに改善し、全国や県平均を上回っている。

- ・長い文章（たくさんの情報量）の中から、「必要な情報を選び取る力」、文章で書かれている内容・場面を「イメージする、思い浮かべる力」に課題がある。

〔理科〕

○「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」の全領域で全国・県平均を上回っている。

- ・「結果から、どのようなことが言えるかを考える力」、「複数の根拠を基に考察する力」に課題がある。

【生活習慣や学習環境等に関する調査】

○朝食の摂取や睡眠時間等、基本的な生活習慣が身についている児童の割合が多い。

○「家庭で1時間以上学習している」「自分で計画を立てて学習している（授業の予習や復習をしている）」といった、家庭学習の習慣が身についている児童の割合が多い。

○「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標を持っている」「自分でやると決めたことは、やり遂げようとする」「難しいことでも、失敗を恐れず挑戦しようとする」「人が困っていたら進んで助ける」「いじめはどんな理由があってもいけない」「友だちと協力する」「学校へ行くのが楽しい」「人の役に立つ人間になりたい」といった項目で、肯定的な回答をする児童の割合が多い。

- ・スマホやテレビゲームの利用時間など、メディア・コントロールの部分で課題がみられる。
- ・普段の読書時間が少ない。

学校では現在、これまでの指導法などを振り返り、詳細な結果の分析と学力向上に向けた授業改善に取り組んでいるところです。しかし、確かな学力は、学習習慣や生活習慣とも深く関連があることから、学校だけの取り組みだけで育成できるものではありません。

今年度の成果である「基本的な生活習慣が身についている」児童の割合が高く、そういう児童ほど学力が高い傾向が見られるということからも、保護者の皆さまには引き続き、お子さんが学校で、自分の持っている力を思う存分発揮できますよう、「早寝、早起き、朝ご飯」（規則正しい過ごし方）をお願いします。これができるのは、家庭だけです。

また今回は、学習面・生活面にもテレビゲームやスマホの影響と思われる項目が、数多く見られました。「メディア・コントロール」に関する部分は、家庭と学校とが、ともに考えていくべき喫緊の課題であると認識しています。

今後も、本校のよさのひとつである「学校と家庭の結びつきの強さ」を生かしつつ、子どもたちの健やかな成長を支えていくことができるよう、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

